

基本を学んだ鹿児島での少年時代

市長 世界中が注目するサッカーワールドカップ・ブラジル大会が開催される今年、遠藤さんとお話しできる機会を持って、大変うれしく思います。遠藤さん ありがとうございます。そうして市長さんとお話しでき、大変光栄です。



遠藤 保仁さん

昭和55年、鹿児島市に生まれる。桜洲小学校、桜島中学校、鹿児島実業高校と進み、平成7年には全国高校サッカー選手権優勝。平成10年、横浜フリューゲルスに入団し、京都パープルサンガを経て、平成13年からガンバ大阪に所属。平成21年にはアジア年間最優秀選手賞を受賞。平成22年、南アフリカ開催のワールドカップでは日本のベスト16進出の原動力となる。同年、本市初の「スポーツ特別表彰」を受賞。

市長 昨年は、所属されるガンバ大阪がJ2での試合という状況の中で、遠藤さんは主将としてチームをけん引され、見事優勝を果たされました。来シーズンからのJ1復帰、おめでとうございます。

遠藤さん 私は、2人の兄の影響もあり、小学3年生からサッカーを始めました。小学生の頃は、自分の家庭で、毎朝7時から30分間、兄と近所の友人でミニゲームをしていましたし、ワールドカップなどのビデオを擦り切れるほど見て、トップ選手のプレーを勉強していましたね。

市長 その考えには同感です。今、世界で活躍されている遠藤さんの素地はこの頃でできたでしょうね。

市長 先月、「鹿児島ユナイテッドFC」が発足し、来シーズンから鹿児島初のJFLチームとしての活動が始まる見込みで、今後Jリーグを目指していることになると思いますが、多くの市民の皆さんが、遠藤さんの活躍に勇気と感動をもらっていることと思います。

遠藤さん 私は、2人の兄の影響もあり、小学3年生からサッカーを始めました。小学生の頃は、自分の家庭で、毎朝7時から30分間、兄と近所の友人でミニゲームをしていましたし、ワールドカップなどのビデオを擦り切れるほど見て、トップ選手のプレーを勉強していましたね。

市長 その考えには同感です。今、世界で活躍されている遠藤さんの素地はこの頃でできたでしょうね。

市長 鹿兒島市でも、国際感覚と幅広い視野を養っていただくため、「青少年の翼事業」として、毎年、青少年に海外でさまざまな体験をしてもらっています。きっと、派遣された皆さんも、海外でなければ感じることのできない貴重な体験が、その後の人生の大きな糧になっていると思います。

遠藤さん 異国の文化に触れ、刺激を受けることは、確実に人間の成長に役立つと思います。サッカーだけでなく、自分の知らない世界を見ることが大きな経験となり、今につながっています。『井の中の蛙』では、成功しないし、成長もできないと思います。

市長 その考えには同感です。今、世界で活躍されている遠藤さんの素地はこの頃でできたでしょうね。

市長 鹿兒島実業高校に入り、ブラジルにサッカー留学を2回しました。ブラジルのサッカーは、どんな局面でも激しさと厳しさがあがり、闘争心がむき出しなんです。サッカーにかけられる厳しさには、すごく刺激を受けました。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



©GAMBA OSAKA

です。そのため、普段の練習や試合でも、最後まで強い気持ちを持ちながらプレーしなければならぬと思っています。また大きな試合で力を出し切るには、「自然体」であることも大事だと思います。そのためにも、どんな相手でも負けないといった自信が必要です。いろいろなことにトライし、経験を積んで、自分のモノにするための努力をする。そこで得られる自信こそが頼りになり、「自然体」でいられるのです。

市長 不断の努力を続けておられるからこそ、大舞台でも自然体でいられるのでしょね。私の好きな「人事を尽くして天命を待つ」という言葉にもつながるものがあります。

市長 遠藤さんは、ポランチというポジションで、いわば司令塔として、大変重要な役割を担っています。試合中、どういったことを意識しておられるのですか。

遠藤さん 視野が広い選手は、いい選手だと言われます。どこに人がいるのか、試合の状況を把握するのはもちろん、プレーの流れを頭の中で細かく描きながらプレーすることが大切だと思います。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

遠藤さん まず「気持ちの強さ」でしようか。それは、強いチームと試合する時に、とても重要な資質の一つだと思います。「気持ちの強さ」が生む最後の踏ん張りこそが、勝つためには必要

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



森 博幸市長

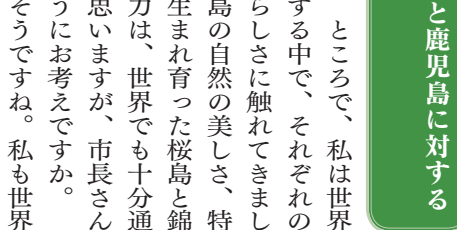
市長 遠藤さんの言われるとおりだと思います。困難な壁に当たっても、粘り強く、積極果敢にチャレンジして、「もつと前へ」進めていくことが必要で

市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。

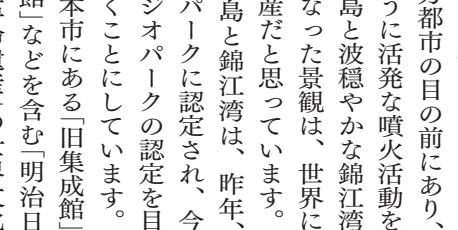
市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。



市長 遠藤さんは、これまで日本代表として世界を相手に戦ってこられたわけですが、強豪国と対戦するとき、どういったことを大切にしておられますか。